



枚方公済病院 血液内科のご紹介

血液専門常勤医1名(日本血液学会認定血液専門医・指導医、日本造血・免疫細胞療法学会造血細胞移植認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本輸血・細胞治療学会認定医、細胞治療認定管理師、インフェクションコントロールドクター、難病指定医)と京都大学血液・腫瘍内科学からの非常勤血液専門医4名と5名体制で血液疾患全般に対応しており、多くは造血器腫瘍(血液がん)を診ております。

2024年度入院実績

急性骨髄性白血病 33例、急性リンパ性白血病 4例、骨髄異形成症候群 33例、悪性リンパ腫 75例、多発性骨髄腫・類縁疾患 10例、特発性血小板減少性紫斑病 8例、赤芽球癆・自己免疫性溶血性貧血など 2例、後天性血栓性血小板減少性紫斑 1例、免疫不全状態の感染症 33例

診療における強み

無菌室 12 床と小規模ですが、その規模だからこそのきめ細かな診療体制、京都大学血液・腫瘍内科との密な連携による質の高い診療体制、各科との連携医療が強みです。

- ① きめ細かな診療体制**：外来から入院へ、入院から外来へ、どの患者も自宅療養、通院、継続治療がスムーズに移行できるよう、病棟/外来看護師、退院支援室、医師、薬剤師、栄養士、PTなどがワンチームとして患者の状態を把握、情報共有出来る包括的体制をとっております。その結果、個々のニーズに合わせた医療が出来、QOLを大切に出来ています。また、終末期の緩和医療も緩和ケア研修会を修了した当科常勤医とともに血液内科ワンチームとして患者・ご家族の思いに寄り添えるよう支援しており、患者が希望されればご家族の宿泊もできる個室環境を整えております。
- ② 京都大学血液・腫瘍内科との密な連携でできる質の高い診療体制**：当院で困難な特殊検査は京都大学血液・腫瘍内科に依頼して、より詳細に病態把握し診断を行い、治療も密に症例検討会を行って最新の知見を含めて多角的に検討してベストな治療選択を提示できるよう努めております。
- ③ 各科との連携医療**：血液疾患は全身の病気でもありますし、併存疾患や合併症の治療も行わなければなりません。当院は婦人科以外の診療科は揃っており、どんなことが起きても迅速に対応して下さる強い味方の先生方がいつもそばにおります。

血液内科科長

上田 里美
(うえだ さとみ)



石山 賢一
(いしやま けんいち)



田村 直紀
(たむら なおき)



池田 正俊
(いけだ まさとし)



岡本 晴香
(おかもと はるか)



血液像に異常所見があれば御遠慮なく御紹介下さい。

血液疾患は、早急に輸血を要するような緊急度の高い疾患が多く、早期の診断と治療導入が必要な重症度の高い疾患が多いです。馴染みが少ない病気のためどう対応したらいいか悩む時が多いと思いますが、いつでもご相談いただければ迅速に対応させていただきます。

地域医療連携室 (072)808-0010

(月火金 8:30-20:00、
水木 8:30-17:15、土 9:00-13:00)

夜間休日のご連絡 ▶▶▶ 病院代表 (072)858-8233